

大石 啓

Kei Obishi
Piano Recital

ピアノ・リサイタル

シリーズ第8回

ホロヴィッツに捧ぐ ロシアン・ナイト

with Takahiro Tshibashi



Program

ラフマニノフ:プレリュードト長調 作品32-5
ラフマニノフ:プレリュード 嬰ト短調 作品32-12
ムソルグスキー:組曲『展覧会の絵』(ホロヴィッツ版1951)
シューマン:トロイメライ 作品15-7
ホロヴィッツ:ビゼーのカルメンの主題による変奏曲(1978)

ラフマニノフ:チェロとピアノのためのソナタト短調 作品19

※曲目は都合により変更する場合がございます。

ゲスト:石橋隆弘(チェロ)

〈ご予約・お問合せ〉

電話■0548-32-5680 (Tel. & Fax.)

メール■konzertieren014@yahoo.co.jp

*メール申込みは、上記のメールアドレスからの返信が受信できるように設定をしてください。

チケット取扱

リサイタル・シリーズ事務局及び下記の5店でチケットをお求めいただけます。

- すみやグッディ本店 054-253-6222 (呉服町)
- 文具・事務機の(株)ブンテン 0548-22-0313 (静波)
- 小山紙店 0548-52-0022 (波津本通り)
- ミュージックセンターひまわり 0548-52-1693 (波津)
- 池田 0548-22-0428 (谷の口)

7/7(土)チケット発売予定

注1) 前売券完売の場合は当日券販売はありません。

注2) 申込み後のキャンセルはできません。

2018
9/29 (土)

17:45 開場 / 18:30 開演 (ブレイク 18:15)

相良総合センターい〜ら

入場料: 指定 ¥3,500 自由 ¥3,000 (当日各500円増)

※小学1年生からご入場いただけます

主催 ■K.O.リサイタル・シリーズ実行委員会

後援 ■牧之原市、吉田町、牧之原市教育委員会、吉田町教育委員会、
榛原高等学校同窓会、公益社団法人日本演奏連盟、
すみやグッディ株式会社

私のリサイタル・シリーズは、ベートーヴェン時代の演奏会形式を踏襲し、毎回テーマを決め、この演奏家とこの作品を弾いたらどんなに素敵だろう、という思いで組んだプログラムをこれまでに楽しみ頂きました。

第8回の今回は、“ピアノの魔術師”と謳われた20世紀最大のピアニスト、ホロヴィッツ(Vladimir Horowitz 1903-89)の魅力に迫ります。ホロヴィッツが編曲までして愛奏した作品、アンコールに度々取り上げた作品、本拠地であったカーネギー・ホールが老朽化による取り壊しの危機にあった時、救済のためのチャリティ・コンサートで演奏した作品を集め、プログラムを組みました。名付けて“ホロヴィッツに捧ぐロシアン・ナイト”。ロシア出身で唯一無二のこの巨匠を偲び、今なお秘蔵のライブ録音が発掘発売され、没後30年を迎えその人気は衰えることを知りません。そこで、ホロヴィッツ変作による超絶技巧をちりばめた2作品「展覧会の絵」と「カルメン変奏曲」を日本では10年ぶりに再挑戦致します(両曲共に楽譜未出版のため私が採譜致しました)。ラフマニノフの「チェロとピアノのためのソナタ」は、この曲を17年前に共演した石橋隆弘さんをゲストに迎え楽しみ頂きます。ロシア芸術の魅惑のひと時をご一緒できますことを楽しみに、皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。 大石 啓

大石啓さんはプラハ音楽院の私のクラスで数年学びました。彼がプラハに来た時、既に高度な技術、幅広いレパートリー、優れた音楽的理論や知識を持つピアニストでした。集中的に行ったレッスンの数年後、彼は特に古典派、ロマン派の作品において、曲の形式、様式、テンポなどの細かい感覚を習得し、芸術的人格を開発していきました。彼の演奏には、聴衆の心をつかむことのできる素晴らしい創造性、想像力があります。私は彼のコンサートが常に、特別なものであり、それは聴衆の皆さんを音楽の持つ世界に引き込むことになると信じています。

ピアニスト、プラハ音楽院教授 ミハル・レゼク



Michal Rezek

Profile

大石 啓 (ピアノ)

吉田町出身。ルドルフ・ゼルキン氏の弾くベートーヴェンに感銘を受け、ゼルキン、ケンプ、ホロヴィッツ等往年の名演奏家の演奏法を研究する。武蔵野音楽大学にて大谷三千雄、アマデウス・ウェーバー・ジンケ、桐朋学園大学院大学にて岩崎淑、チェコ国立プラハ音楽院にてミハル・レゼク諸氏に師事、深澤亮子、津田真理、ヘルムート・ブラウス、ルース・スレンチンスカ、ノルベルト・ヘラー諸氏にも師事した。

第4回大阪国際音楽コンクール第2位、第26回ヴァルセミア国際コンクール(イタリア)にてディプロマ賞等受賞。2007年から取り組んだホロヴィッツ作品の採譜演奏はCDにも収録し、中でもムソルグスキー/ホロヴィッツ編曲の《組曲「展覧会の絵」》はインターネットサイトでも紹介された。2008、9年イタリア・グッピオ音楽祭参加。

2010年堺武弥氏指揮、掛川管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第5番「皇帝」を共演。2011年プラハ・パルフィー宮殿にてリサイタルを開催。室内楽奏者としての信頼も得て、アンサンブル・クレーのメンバーとしてピアノ三重奏(2012-2015、函館)、岩崎氏のリサイタル(2015、茨城)、マティ・ソナイトネル氏のスイス3都市ツアー(2015、インターラッケン、ムルテン、ベルン)、アダム・ペホチアク氏のプラハ室内楽演奏会(2016、チェコ)等で共演。国内外の著名アーティストと共にベートーヴェン時代のコンサート・スタイルを再現したリサイタル・シリーズを主宰(2014年度は焼津市と共演)。クラシック音楽を解説とともにお届けする「おしゃべりクラシック・コンサート」(2018年は福岡でも開催、Mujikapia主催)、「公開リハーサル」、小さなお子様もコンサート・ホールにて生の音楽をお楽しみ頂く「親子で楽しむコンサート」を開催し、地元のクラシック音楽の普及に務めている。学校、幼稚園への出前コンサートに多数出演、吹奏楽部との共演等、教育機関への協力も地域を問わず行う(静岡、東京、神奈川、群馬、佐賀、函館等)。カワイ表参道主催の講座「名曲を弾く・知る・聞く」～今更、聞けない有名曲の弾き方～にて講師を務め、「作曲家・ピアニストについて広い知識を有し、解りやすい解説に定評がある」と紹介された(2015)。

現在は作曲家の自筆譜、初版譜、当時の習慣を研究した演奏活動を行うとともに、啓音塾を主宰し後進の指導にあたっている。CDの解説(キングインターナショナル)、コンサート・プログラム解説の執筆も演奏家の依頼を受け行なう。公益社団法人日本演奏連盟、品川クラシック音楽協会各会員。

石橋 隆弘 (チェロ)

16歳よりチェロを始める。

武蔵野音楽大学卒業。同大学卒業演奏会に出演。

桐朋オーケストラアカデミーにて研鑽を積む。

2001年セントラル愛知交響楽団に入団。

オーケストラでの演奏活動の他、室内楽リサイタル等多数出演。

チェロを内田勝彦、勝田聰一、北本秀樹の各氏に師事。

室内楽をクレメンス・ドル、藤原浜雄、エレオノーレ弦楽四重奏団、

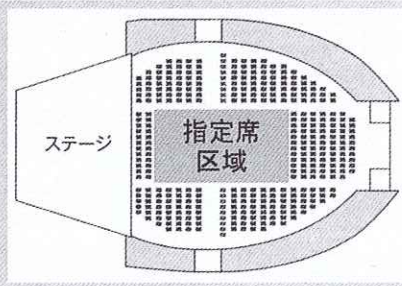
東京クワルテット、藤井一興の各氏に師事。

ザ・ストリングス名古屋、寺田弦楽四重奏団各メンバー。

愛知県立明和高等学校音楽科、名古屋芸術大学非常勤講師。

●指定席について

右記会場図の144席を指定席と致します。座席毎に取扱店が異なります。



牧之原市須々木140番地 ※静鉄バス相良営業所より徒歩10分